

平成29年度

水産業・漁村を支える
担い手の確保育成事業

漁業就業体験レポート集



はじめに

三重県が実施する漁業就業体験（インターンシップ）は、高校生や大学生の皆さんに、自然とともに生きるライフスタイルや食料供給者としての魅力を実感していただき、卒業後の選択肢の一つに三重県での漁業就業を加えていただくことを目的にスタートし、今年度で2年目を迎えました。

三重県では、遠浅の砂浜が広がる伊勢湾、離島や複雑に入り組んだリアス式海岸がつづく伊勢志摩地域、黒潮の影響を強く受ける熊野灘沿岸など、変化に富む地域特性に併せて様々な漁業が行われています。

しかし、個人経営者が大半を占め、海が職場となる漁業では、在学中に就業体験をしていただく機会が少なく、漁業の実態や魅力が十分に伝わっていないのが実情です。

つきましては、本レポート集から今年度の参加者が体感した「漁業という職業の魅力」を感じていただき、高校生や大学生の皆さまの卒業後の選択肢の一つとして、三重県での漁業就業を考えていただく一助となれば幸いです。

末尾になりますが、本インターンシップに参加していただいた高校生や大学生の皆さま、インターンシップ生を受け入れていただいた漁業者の皆さま、ご協力いただいた関係教育機関の皆さまに感謝申し上げます。

平成30年3月

三重県農林水産部水産資源・経営課

目次

1	漁業就業体験レポート紹介	2
(1)	三重県立水産高等学校水産資源科 1年生	／ひき縄釣り漁業 2
(2)	三重県立水産高等学校水産資源科 1年生・2名	／魚類養殖業 4
(3)	愛知県立東郷高等学校普通科 3年生	／タコかご漁業 7
(4)	皇學館大学現代日本社会学部 3年生	／定置網漁業 9
(5)	皇學館大学現代日本社会学部 3年生	／バッチ網漁業 11
(6)	三重大学生物資源学部 3年生	／貝類養殖業 13
(7)	京都産業大学外国語学部 3年生	／真珠養殖業 15
	自由学園大学環境学部 4年生	／真珠養殖業
2	漁業就業へのステップと支援制度	18
3	漁業就業体験実施場所位置図	19

1 漁業就業体験レポート紹介（1）

体験概要	
体験期間	平成29年7月25日～30日（5日間）
受入漁業者	志摩市志摩町和具 田邊善郎 氏
体験漁業／魚種	ひき縄釣り漁業（※）／ヨコワ（マグロ稚魚）
体験内容	ひき縄釣り漁業体験、漁港での水揚げ作業体験など
実習生	三重県立水産高等学校 水産資源科 1年生・男性

※ひき縄釣り漁業…船から竿を張り出し、その先に釣糸、釣針を備えた疑似餌をつけて表層を曳き、カツオ、シイラ、サワラなどの魚を釣ります。夜明け前に出港し、昼頃に帰港して水揚げ作業などを行います。

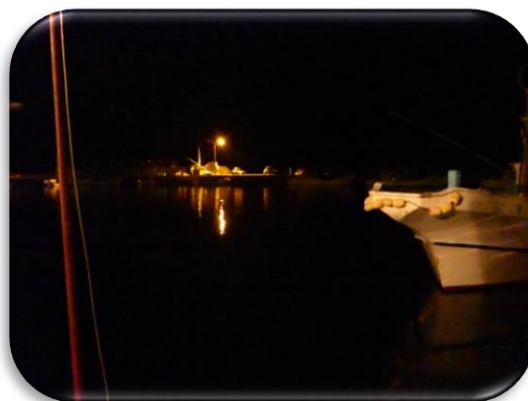
実習生レポート（三重県立水産高等学校 水産資源科 1年生・男性）	
志望動機	<p>漁業就業体験を通して社会の厳しさや大変さを体験して卒業後の就職に活かしたい。</p> <p>私は、昔から漁業に関する職業に就こうと思っていましたので、このインターンシップで漁業とはどのような職業なのかを体験したいと思います。</p>
体験の目標	<p>しっかりとコミュニケーションを取り、安全を確保したうえで積極的に行動する。</p>
目標の達成度	<p>コミュニケーションは取れたけど、市場での積極的な行動が取れなかった。市場での水揚げ作業を見学できた。</p>
新たに発見したこと	<p>やっぱり会話は大切だと思いました。</p> <p>何故なら、話すことによってその場の雰囲気も変わりますし、様々なことを教えてくれるからです。</p>
就業体験を希望する後輩に向けた助言等	<p>漁業では自然相手なので、天候によっては漁に出られない日もある。</p>

受入漁業者実施報告（志摩市志摩町和具 田邊善郎 氏）

実習生の評価	真面目で意欲があり、漁業に興味があるのが良くわかった。 遅刻も無く、船酔いもしなかった。 徐々に積極的に動くようになって来た。
就業体験受入による成果	自然の厳しさ、漁業の厳しさが良くわかったと思う。
実習生へのメッセージ	もう少し漁があれば良かった。 他の漁業も体験して欲しいと思いました。
今後、就業体験を希望する学生等へのメッセージ	いろんな漁業があるので、自分の興味がある漁業を体験して欲しいと思います。



体験内容の打ち合わせ



早朝からの出港



漁具の扱いを学ぶ実習生



釣上げた魚

1 漁業就業体験レポート紹介（2）

体験概要	
体験期間	平成30年1月15日～19日（5日間）
受入漁業者	度会郡南伊勢町河内 株式会社ブルーフィン三重
体験漁業／魚種	魚類養殖業（※）／クロマグロ
体験内容	給餌作業見学、水揚げ・加工・出荷作業の見学など
実習生	三重県立水産高等学校 水産資源科 1年生・男性2名

※魚類養殖業…海上の筏に網生簀をつるしてその中で魚を養殖します。クロマグロは1年半～3年ほどかけて養殖されるのが一般的で、特に大型の生簀を使用するのが特徴です。

実習生レポート①（三重県立水産高等学校 水産資源科 1年生・男性①）	
志望動機	私の将来の夢は漁師になることです。 今回、実際に自分自身で体験して、養殖について学びたいと思いました。
体験の目標	集中して見学し、少しでも多くの事を覚える。 質問を多くする。
目標の達成度	給餌の仕方、餌の種類、マグロの特徴、加工の仕方など多くの事を学べた。
新たに発見したこと	餌のイワシは1日で120万円かかる。 出荷するときはエラ、内臓除去したGG出荷（※）、ブロック・サクに加工してからする小口出荷がある。
就業体験を希望する後輩に向けた助言等	5日間でたくさんのお話を学べる。 貴重な体験が出来るからやったほうがよい。

※GG(Gilled and Gutted)出荷…傷みやすいエラ（Gill）と内臓（Gut）を除去する出荷形態です。

実習生レポート②（三重県立水産高等学校 水産資源科 1年生・男性②）

志望動機	将来は漁師になりたいと思い水産高校に入学しました。 今回、養殖業やマグロに興味があるので希望しました。
体験の目標	就業体験の目標は、養殖業について、僕自身あまり知らないことの方が多いので、今回のインターンシップで、養殖業とはいったいどのような仕事なのか知りたくて、今後の自分の職業で役立てたらいいなという思いが目標です。
目標の達成度	今回の就業体験を通じて得られたことは、養殖の難しさや、苦勞を感じましたし、養殖業はとてもお金のかかる仕事だということも分かりました。だけど、養殖について多くのことを学べたし、これからの僕の将来の職業に役立つことばかりを学べたので本当によかったです。
新たに発見したこと	新たに発見したことは、僕の祖父も養殖をしているのですが、今回のクロマグロの養殖を見て思ったことは、全く違う種類ですが、全然違った養殖業なので、とても驚きましたし、規模も全く違い、それにも驚きました。
就業体験を希望する後輩に向けた助言等	学校では学べないことが多くあるから、ぜひ自分から進んで行って、少しでも気になることがあるのなら、何でも聞いた方がいいと思います。



水煙と生餌を吐き出す給餌船



釣上げ作業の様

受入漁業者実施報告（度会郡南伊勢町河内 株式会社ブルーフィン三重）

実習生の評価	元気があり質問も積極的で、船酔いが平気という点も含めて水産高校生らしさを感じました。
就業体験受入による成果	インターンシップを受け入れたのは初めてで、怪我なく終わり安心しました。 弊社に水産高校OBが2名おり、先輩として安全に作業する自覚が深まったと感じています。
実習生へのメッセージ	休み期間でなく授業がある週の平日5日間お疲れ様でした。将来はぜひ漁業の道に進んでください。
今後、就業体験を希望する学生等へのメッセージ	マグロ養殖は日々たくさんの餌をあげる地道な給餌作業が中心ですが、釣上げ出荷作業を間近で見るとすごい迫力ですよ。



釣上げを見守る実習生



船上での神経締め



クレーンで水揚げされるマグロ



計量作業の様子

1 漁業就業体験レポート紹介（3）

体験概要	
体験期間	平成29年8月21日～25日（5日間）
受入漁業者	鳥羽市石鏡町 利盛丸 里中晃 氏
体験漁業／魚種	タコかご漁業（※）／マダコ
体験内容	タコかご漁業体験、漁港市場にて水揚げ作業体験、片付け・準備、入札の見学など
実習生	愛知県立東郷高等学校 普通科 3年生・男性

※タコかご漁業…餌でかごの中にタコをおびき寄せて漁獲する漁法です。前日に設置したかごを翌日の早朝に引き上げ、帰港して水揚げ作業などを行います。

実習生レポート（愛知県立東郷高等学校 普通科 3年生・男性）	
志望動機	将来漁師になりたいと真剣に思っています。 若いうちから実際に現場に出て、自分のやりたい漁業の種類を見つけたり、熟練漁師さんなどから見て学べる事ができる、とても良い機会だと思ったため、参加したいと思いました。
体験の目標	自分の出来ることは積極的に参加する。 地域独特の漁を見て学ぶ。 今後の自分に今回の体験で学んだことを活かす。
目標の達成度	いろいろな方とお話をさせてもらい、本当にためになるお話ばかりで、自分の今後に活かせると思った。 今回の体験は自分を成長させるとともに、作ってくれるものになった。
新たに発見したこと	三重県では漁師になりたい人をサポートする制度が本当にたくさんあるのを知った。どんな漁の種類にも必ずサポートが付いている。
就業体験を希望する後輩に向けた助言等	積極的に自分に出来ることは取り組もう。 自分から話しかけたりした方が地域の方と良く話せるようになる。

受入漁業者実施報告（鳥羽市石鏡町 利盛丸 里中晃 氏）

実習生の評価	あいさつ、返事がよく積極的に取り組んでいたと思います。
就業体験受入による成果	今のところわかりませんが、今後も受入を続けていけたらいいなと思います。
実習生へのメッセージ	何をするにしても、夢をもって継続する事が大事なので、がんばってください。
今後、就業体験を希望する学生等へのメッセージ	気軽に漁師体験に来てください。漁村体験ができます。



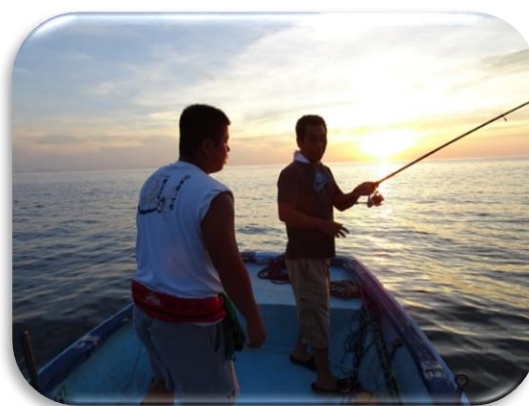
打ち合わせの様子



積上げられたタコかご



沖で迎える日の出



空き時間の様子

1 漁業就業体験レポート紹介（4）

体験概要	
体験期間	平成29年7月31日～8月4日（5日間）
受入漁業者	熊野市遊木町 株式会社遊木大敷
体験漁業／魚種	定置網漁業（※）／時期による
体験内容	定置網漁業体験、水揚げ作業体験、網の補修作業体験など
実習生	皇學館大学 現代日本社会学部 3年生・男性

※定置網漁業…魚の通り道（魚道）に網を設置して魚群を誘導し、網に入り込んだ魚を漁獲する漁法です。早朝に出港して網に入った魚を漁獲し、帰港して漁獲物の選別作業などを行います。

実習生レポート（皇學館大学 現代日本社会学部 3年生・男性）	
志望動機	<p>私が漁業のインターンシップを志望した理由は、昔から釣りをすることが多く漁業に興味があり、やってみたいと思い志望しました。</p> <p>三重県は海産物の多く獲れる県の一つです。海産物をもっと全国に売っていけば、県自体も活性化していくと思います。私も一緒に漁業を通して県の活性化に貢献していきたいと思っています。</p>
体験の目標	<p>5日間で漁師の仕事を少しでも多く覚えること。</p> <p>魚に慣れること。</p>
目標の達成度	<p>漁師の仕事の大変さやお金を稼ぐことの大変さを改めて知れたことが一番の収穫だと思います。</p>
新たに発見したこと	<p>今日、自分が思ったことは、人を思いやる心を持って行動することが大事なことだと思いました。</p> <p>それが働き始めた時大切になってくるのではないかと思います。</p>
就業体験を希望する後輩に向けた助言等	<p>漁業インターンシップは、水産の仕事について色々学べます。その中で、興味を持つことや楽しい作業がたくさんあると思います。それだけでなく働いていく中での常識や知識を身に付けることができます。</p>

受入漁業者実施報告（熊野市遊木町 株式会社遊木大敷）

<p>実習生の評価</p>	<p>漁獲物に対して興味を持ち、選別していた。 積極性については、船酔いもありましたが、もう少しあってもよいのでは。 若さと体力を活かし切れなかった。</p>
<p>就業体験受入による成果</p>	<p>どんな仕事でも同じですが、仕事を教える難しさを改めて感じました。学生ということもありましたから、若い方への接し方など。</p>
<p>実習生へのメッセージ</p>	<p>チームワークのいる仕事です。もう少し積極性があってもよいと思います。</p>
<p>今後、就業体験を希望する学生等へのメッセージ</p>	<p>前もって漁師の仕事の少しでも予習し、質問できると楽しい体験になると思います。</p>



打ち合わせの様子



漁に参加する実習生



網に入った魚



網の補修作業の様子

1 漁業就業体験レポート紹介（5）

体験概要	
体験期間	平成29年8月6日、10日～11日、18日（延べ4日）
受入漁業者	鈴鹿市下箕田 甚清丸 矢田和夫 氏
体験漁業／魚種	バッチ網漁業（※）／マイワシ、カタクチイワシ
体験内容	バッチ網漁業体験、漁港での水揚げ作業体験など
実習生	皇學館大学 現代日本社会学部 3年生・男性

※バッチ網漁業…2隻の漁船で袋状になった網を曳き、表層や中層の魚を漁獲する漁法です。運搬船に水揚げを任せて連続して漁を行うこともあります。夜明け前に出港し、昼頃に帰港して水揚げ作業などを行います。

実習生レポート（皇學館大学 現代日本社会学部 3年生・男性）	
志望動機	<p>私が漁業のインターンシップを志望した理由は、昔から釣りをすることが多く漁業に興味があり、やってみたいと思い志望しました。</p> <p>三重県は海産物の多く獲れる県の一つです。海産物をもっと全国に売っていけば、県自体も活性化していくと思います。私も一緒に漁業を通して県の活性化に貢献していきたいと思っています。</p>
体験の目標	<p>どのような漁なのかを知る事。イワシの群れをどのように捕獲していくのか。</p>
目標の達成度	<p>就業体験を終えてみて、改めて漁師の仕事の大変さを知りました。一人一人が協力してやっていかないといけない仕事と改めて知れた事は良かったです。</p>
新たに発見したこと	<p>企業とは違って、朝早い分、昼からは自由な時間が多いと思いました。</p> <p>季節によって仕事内容も変わってくると思うのでそこは大変なところの一つだと思いました。</p>
就業体験を希望する後輩に向けた助言等	<p>このように海に関わる職業体験をすることは、自分にとってすごくプラスになったし、いい経験になりました。</p>

受入漁業者実施報告（鈴鹿市下箕田 甚清丸 矢田和夫 氏）

実習生の評価	漁業には興味があるようで素直で言われた事は何でもやってもらいました。しかしながら初めてで、危険な作業も多々あるため、見学してもらう所もありました。
就業体験受入による成果	魚への氷入れや、船の掃除といった、簡単な作業ではありましたが助かりました。
実習生へのメッセージ	漁業体験を通して頑張った事を将来の仕事にも活かして下さい。
今後、就業体験を希望する学生等へのメッセージ	朝の早い仕事ですが、海や魚に興味のある方は是非体験して下さい。



打ち合わせの様子



漁船を見学する実習生



海苔工場見学の様子



網の重みで傾く漁船

1 漁業就業体験レポート紹介（6）

体験概要	
体験期間	平成29年9月11日～15日（5日間）
受入漁業者	鳥羽市浦村町 有限会社丸善水産
体験漁業／魚種	貝類養殖業（※）／マガキ、イワガキ、トリガイ
体験内容	カキ・トリガイ養殖漁場の見学、カキのむき身作業体験、養殖資材の作成、筏の修理・解体作業など
実習生	三重大学 生物資源学部 3年生・男性

※貝類養殖業…貝類養殖は、主に海上の筏から垂らしたロープやかごでカキ等の二枚貝を養殖する垂下式養殖で行われます。マガキは、プランクトンが豊富で静穏な海域で1年半ほどかけて養殖されます。

実習生レポート（三重大学 生物資源学部 3年生・男性）	
志望動機	私は大学において水産業の現状や養殖の種類・方法、漁業の種類・特徴についての講義を受けたり、実習では漁港の見学などを行っています。そして大学で学んでいるうちに、実際に漁業体験を行い水産業に対する更なる理解を深めたいと考え、志望しました。実際に漁業に従事している方々がどんなことに苦労しているのかや、工夫していることなどについて学びたいです。
体験の目標	カキ養殖及びトリガイ養殖においてどのような作業が実際に行われているのかを学ぶ。養殖業者独自の養殖に対しての工夫について理解を深める。
目標の達成度	浦村のカキ養殖は水産業の発展に寄与するのみならず、筏に使用する木材に尾鷲のヒノキを使用し、コレクター（※）生産を障害者の方に委託するなど、地域産業の発展にも大きく貢献していることを初めて知ることが出来た。
新たに発見したこと	近年、水産業は衰退しているとよく聞かすが、一方では丸善水産の方々のようにカキ養殖にトリガイ養殖を組み入れたり、人工種苗の導入やエサとなるプランクトンの自社生産に取り組みんだり、更なる発展へ向けた工夫を日々行っている企業もあることを学んだ。

就業体験を希望する後輩に向けた助言等

漁業のイメージについて考えた場合、どうしても体力のいる仕事や休みのない仕事のイメージが強くあることが多いが、実際には、体力の求められる仕事だけでなく、新しい種苗の生産について考えたり、週に1日休みがあるなど、違うところも多く存在する。企業の工夫や経営についての努力・考えは、やはり実際に見て、体験することで初めて得られるものが非常に多いため、現場に足を運んでみる事が重要である。

※コレクター…カキの天然種苗の採取に使用される器具のことで、ホタテ貝殻を連ねて作った器具を海中に垂らすことで、カキ稚貝を付着させます。

受入漁業者実施報告（鳥羽市浦村町 有限会社丸善水産）

実習生の評価	積極性があり、好奇心旺盛で何事でも意欲的に取り組んでいました。
就業体験受入による成果	現在行っている取り組みに実習生が興味を持ち、貝類養殖業の魅力を感じてもらえることが出来た。
実習生へのメッセージ	実習の中で得られたことを今後活かせるようにして頂きたい。
今後、就業体験を希望する学生等へのメッセージ	養殖業者の高齢化、過疎化していく中で、インターンシップを通じて学生さんたちにカキ養殖の魅力をわかってもらいたい。



漁場で説明を受ける実習生



作業の様子

1 漁業就業体験レポート紹介（7）

体験概要	
体験期間	平成29年8月28日～9月1日（5日間）
受入漁業者	志摩市大王町越賀 有限会社丸昌真珠
体験漁業／魚種	真珠養殖業（※）／アコヤ真珠
体験内容	漁場の見学、稚貝の選別・掃除・カゴ替え、核入れ作業体験など
実習生	京都産業大学 外国語学部 3年生・女性 自由学園大学 環境学部 4年生・女性

※真珠養殖業…筏から垂らしたかごで真珠貝を養殖して真珠を生産する漁業で、三重県が発祥地です。アコヤガイ（母貝）の成長に1～2年、核入れ手術から真珠摘出までにさらに6～9ヶ月ほどかかります。

実習生レポート①（京都産業大学 外国語学部 3年生・女性）	
志望動機	昨年度も漁業就業体験に参加させていただいて、将来漁業に就きたいと考えたため、今年度は昨年度とは違った分野の仕事を体験させていただきたいと考えました。
体験の目標	真珠養殖の現場とその技術を知る。
目標の達成度	実際に現場で真珠養殖について学んだことで、想像していたよりも大変な仕事であると実感しました。
新たに発見したこと	同じ養殖業でも食用と装飾用品とでは扱いなど違いがあるのだと改めて感じました。 また、核・玉入れ作業はかなり難しかったので、本当に何年も時間をかけてようやく出来るようになるほどの技術が必要なのだろうと感じました。
就業体験を希望する後輩に向けた助言等	真珠といえば店で売っている商品の状態のものしか知らない方が多いかと思います。そんな商品になる前の、作り出す過程を知り、見る事が出来るなんてすばらしい体験になるでしょう。 少しでも興味があれば、ぜひ参加してみてください。

実習生レポート②（自由学園大学 環境学部 4年生・女性）

<p>志望動機</p>	<p>大学で機織りを学んでいる経験から機械によらないモノづくりに興味を持ち始めました。古くから続く歴史の中で変わらずに愛され、価値を持ち続けている“真珠”に興味を持ちました。</p> <p>挿核や収穫以外の作業工程はどんなものかを教えてもらいたい。</p> <p>数多くある宝飾の MATERIAL の中でも人が作り出すことができる真珠の産業がどのようなものであるか知りたいと考えようになりました。</p>
<p>体験の目標</p>	<p>真珠の生産現場の体験</p>
<p>目標の達成度</p>	<p>就業体験を通して、貝を少しずつ育ててゆくことや、漁場によって海の色が違い、成長に合わせて貝の漁場を変えることなど、奥が深い仕事だと知った。</p>
<p>新たに発見したこと</p>	<p>次世代の担い手不足であることや真珠の本物の輝きなど、実際に事業者の方と話すことで得られたことがあった。</p>
<p>就業体験を希望する後輩に向けた助言等</p>	<p>興味があれば、参加することで新しい視点や働き方を考えられる機会になり、充実した1週間になると思います。</p>



作業場での打ち合わせ



漁場を見学する実習生

受入漁業者実施報告

実習生の評価	短い期間での体験なので、慣れるので大変だったと思います。指導には、飲み込みも良く、すぐに実践してもらいました。挨拶、礼儀も良かったです。
就業体験受入による成果	若い人と触れ合うことが出来、今の人の感性を少しは感じる事が出来ました。
実習生へのメッセージ	稚貝の手入れを手伝っていただいてありがとうございます。お蔭さんで稚貝もすくすくと成長してくれることと思います。 慣れない仕事で大変だったでしょう。 御苦労様でした。
今後、就業体験を希望する学生等へのメッセージ	真珠養殖業はアコヤ貝の生態を利用して作るものです。 真珠の出来の良し悪しは、漁場環境、アコヤ貝の生理状態等を見抜く勘が大切です。アコヤ貝と向き合い、会話出来る様になると良い真珠が出来ると考えます。



伝統のスタイルに身を包む実習生



核入れ体験の様子

2 漁業就業へのステップと支援制度（平成30年3月現在）

（1）就業相談・情報収集

- 三重県漁業担い手対策協議会への就業相談
- 漁業に関する就業フェアなどでの情報収集
- ・三重県津市で三重県農林漁業就業就職フェアが年間2回開催されるほか、東京や大阪などでも全国規模の漁業就業フェアが開催されています。

（2）漁業体験

- 各地で開催されている漁業体験プログラムやインターンシップに参加
- 【支援：就業促進研修事業（（公財）三重県農林水産支援センター）】
- ・2日間以上1週間以内の研修における宿泊費などの一部助成

（3）技術取得

- 受入漁業者のもとで長期の漁業技術の習得を行う。
- 【支援：就業促進研修事業（（公財）三重県農林水産支援センター）】
- ・2ヶ月以上10ヶ月以内の研修における宿泊費などの一部助成
- 【支援：新規就業者受入環境整備事業（（公財）三重県農林水産支援センター）】
- ・住宅手当の一部助成 等
- 【支援：漁業人材育成総合支援事業（水産庁）】
- ・漁業現場で実地による長期研修を行う際の研修経費の助成
- 【支援：次世代人材投資（準備型）（水産庁）】
- ・漁業学校に準ずる機関で研修を受ける者に対する給付金

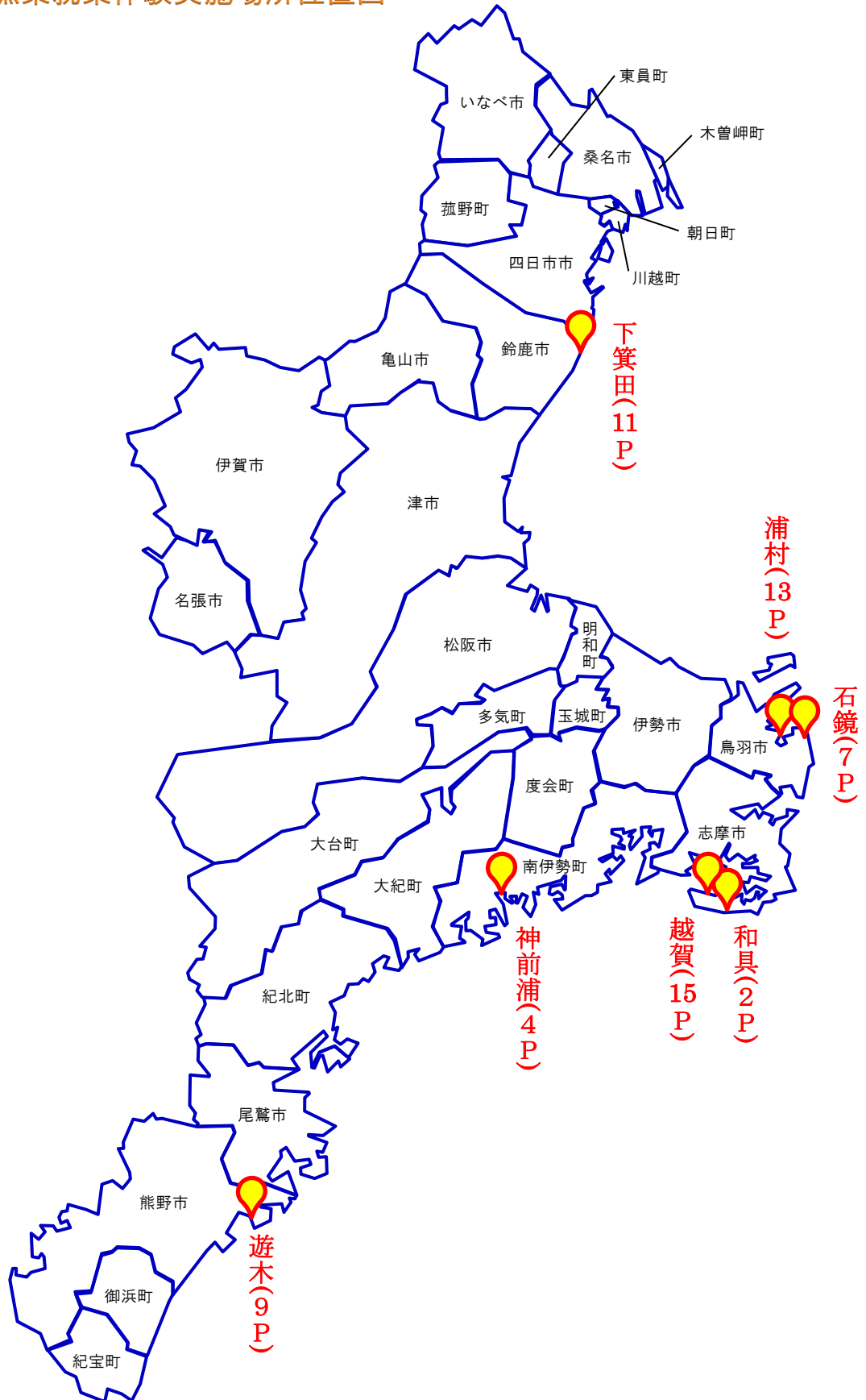
（4）漁業就業

- 〈雇 用〉漁業法人や個人経営体などのもとで就業
- 〈独立自営〉経験を積んだ後に独立して漁業経営を開始
- 【支援：沿岸漁業改善資金〈漁業経営開始資金〉（三重県）】
- ・新たに沿岸漁業の経営を開始しようとする40歳未満の方に対して、無利子で経営開始に必要な資金を貸付（上限2,000万円）

《漁業就業の相談や支援制度に関する問い合わせ窓口》

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 三重県漁業担い手対策協議会（三重県水産会館内） | TEL059-228-6670 |
| （公財）三重県農林水産支援センター（担い手育成支援課） | TEL0598-48-1226 |
| 三重県農林水産部水産資源・経営課（漁業経営班） | TEL059-224-2606 |

3 漁業就業体験実施場所位置図



平成29年度 水産業・漁村を支える担い手の確保育成事業
漁業就業体験レポート集

平成30年3月発行

三重県農林水産部水産資源・経営課

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

TEL：059-224-2606 FAX：059-224-2608

E-mail：suisan@pref.mie.jp